

# 2024年12月期 第1四半期 決算説明資料

ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード：8179)

<https://www.royal-holdings.co.jp>

2024年5月10日

**ROYAL**  
ロイヤルホールディングス株式会社

**I 2024年12月期 第1四半期 実績報告**

**II 中期経営計画「2022～2024」の進捗**

**III Appendix**

# **I 2024年12月期 第1四半期 実績報告**

## II 中期経営計画「2022～2024」の進捗

## III Appendix

# I-1. 連結損益

- ✓ 売上高は、各事業セグメントで既存店が堅調に推移したことに加えて、前期および今期における新規出店が寄与し、対前期比較で大幅な増収
- ✓ 経常利益は、既存店の増収や持分法損益の改善がコスト増を吸収し、対前期比較で増益

(単位：百万円)

	2023年12月期 第1四半期	2024年12月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	31,634	35,629	3,995	12.6%
営業利益	1,617	1,765	148	9.2%
経常利益	1,327	1,704	376	28.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	975	1,526	551	56.5%
EBITDA	3,005	3,499	494	16.4%

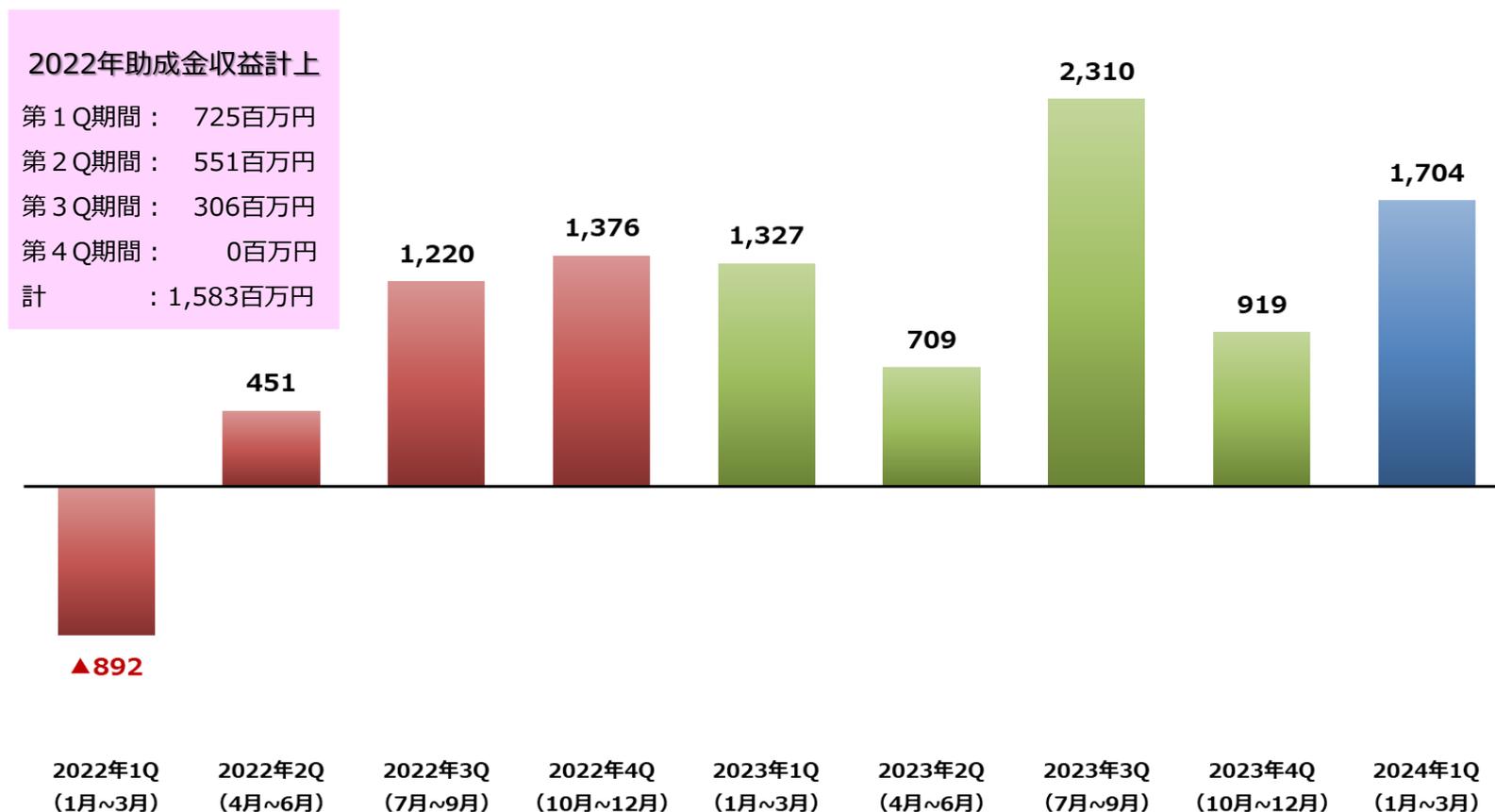
※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + ネット支払利息

# I - 2. 連結経常損益推移（四半期毎）

- ✓ 2024年第1四半期期間（1月～3月）は、8四半期期間連続での経常黒字
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行して以降、各事業セグメントで売上高の回復が進み、経常利益はコロナ禍前を上回る水準まで上昇

連結経常損益推移（四半期）

（百万円）

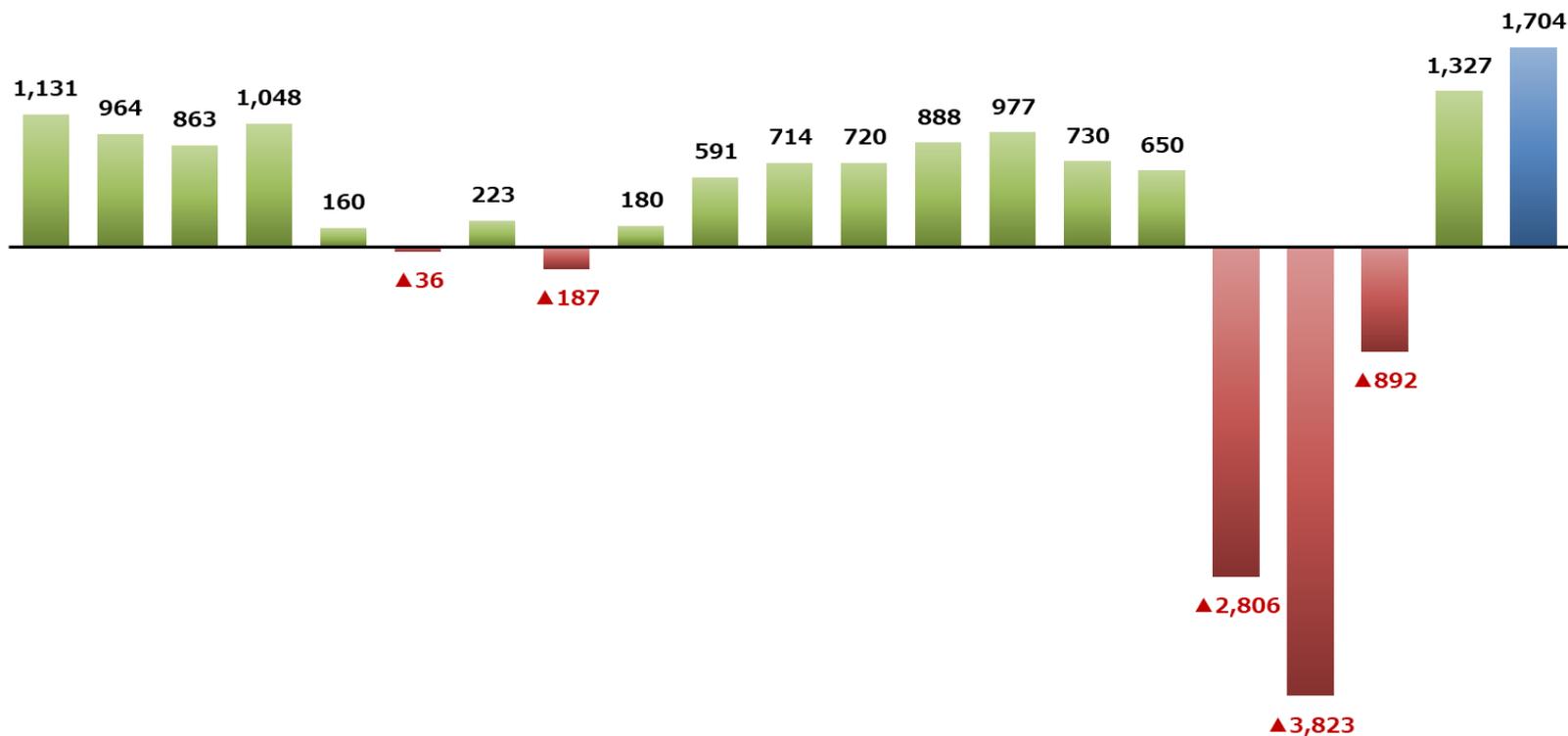


# I-3. 第1四半期 経常損益推移 (2004年~2024年)

- ✓ 第1四半期期間（1月～3月）は、コロナ禍における赤字を脱し、2年連続で経常黒字
- ✓ 2024年第1四半期期間（1月～3月）の経常利益は、四半期財務情報の開示を開始した2004年以降で最高水準

第1四半期 経常損益推移（四半期）

(百万円)



# I-4. 仕入価格高騰の影響額（対前期比較）

	第1四半期期間 (実績)	第2四半期以降 (見込)	2024年通期 (見込)
原材料	+ 2 億円	+ 8 億円	+ 10 億円
電気・ガス	▲ 3 億円	+ 1 億円	▲ 2 億円
影響額計	▲ 1 億円	+ 9 億円	+ 8 億円

- 引き続き、主要食材の米国産牛肉で仕入価格の上昇が継続
- ほか、第2四半期以降は米価の上昇を想定
- 光熱費は低減傾向であったものの、政府補助金の終了等により、第2四半期以降は上昇を想定

※ 2022年実績 + 24億円、2023年実績 + 23億円

# I-5. キャッシュ・フロー

- ✓ 営業キャッシュ・フローは、安定的な利益計上により、プラスを継続
- ✓ 投資キャッシュ・フローは、設備投資が増加し、前期比較ではマイナス
- ✓ 財務キャッシュ・フローは、借入金による収入増に伴い、前期比較ではプラス
- ✓ 上記により、キャッシュ・フロー合計は51億円、現預金残高は期末時点で315億円

(単位：百万円)

	2023年度 第1四半期	2024年度 第1四半期	増減額
営業キャッシュ・フロー	2,540	<b>2,580</b>	39
投資キャッシュ・フロー	△639	<b>▲1,579</b>	△940
(うち設備投資)	△660	<b>▲1,550</b>	△889
財務キャッシュ・フロー	1,091	<b>4,147</b>	3,055
キャッシュ・フロー合計	2,993	<b>5,148</b>	2,154

現金及び預金	28,646	<b>31,537</b>	2,891
--------	--------	---------------	-------

# I-6. バランスシート

- ✓ 2024年3月度末時点の総資産は1,307億円、前期末に対して49億円の増加
- ✓ 自己資本は487億円、自己資本比率は37.3%
- ✓ 固定長期適合率は83.3%、前期末に対して△4.3%改善し、適正水準を維持

(単位：百万円)

	2023年度		2024年度	当四半期 増減額
	3月末	期末	3月末	
総資産	124,900	125,869	<b>130,780</b>	4,911
(参考) うち現金及び預金	28,646	26,394	<b>31,537</b>	5,143
有利子負債	57,293	51,204	<b>56,589</b>	5,384
借入金	26,843	22,600	<b>28,675</b>	6,075
(ネット借入金)	(▲1,802)	(▲3,794)	<b>(▲2,862)</b>	(931)
リース債務	30,449	28,604	<b>27,914</b>	△690
自己資本	44,599	47,821	<b>48,755</b>	934
自己資本比率	35.7%	38.0%	<b>37.3%</b>	△0.7%
固定長期適合率	92.4%	87.6%	<b>83.3%</b>	△4.3%

# I-7. セグメント別損益

- ✓ コントラクト・ホテル事業は対前期比較で増収増益、外食事業は仕入価格の高止まりや人的資本投資に伴う人件費の上昇などにより、対前期比較で減益
- ✓ コントラクト事業は、前期の新規出店（エンターテインメント施設内）が寄与し、大幅な増収

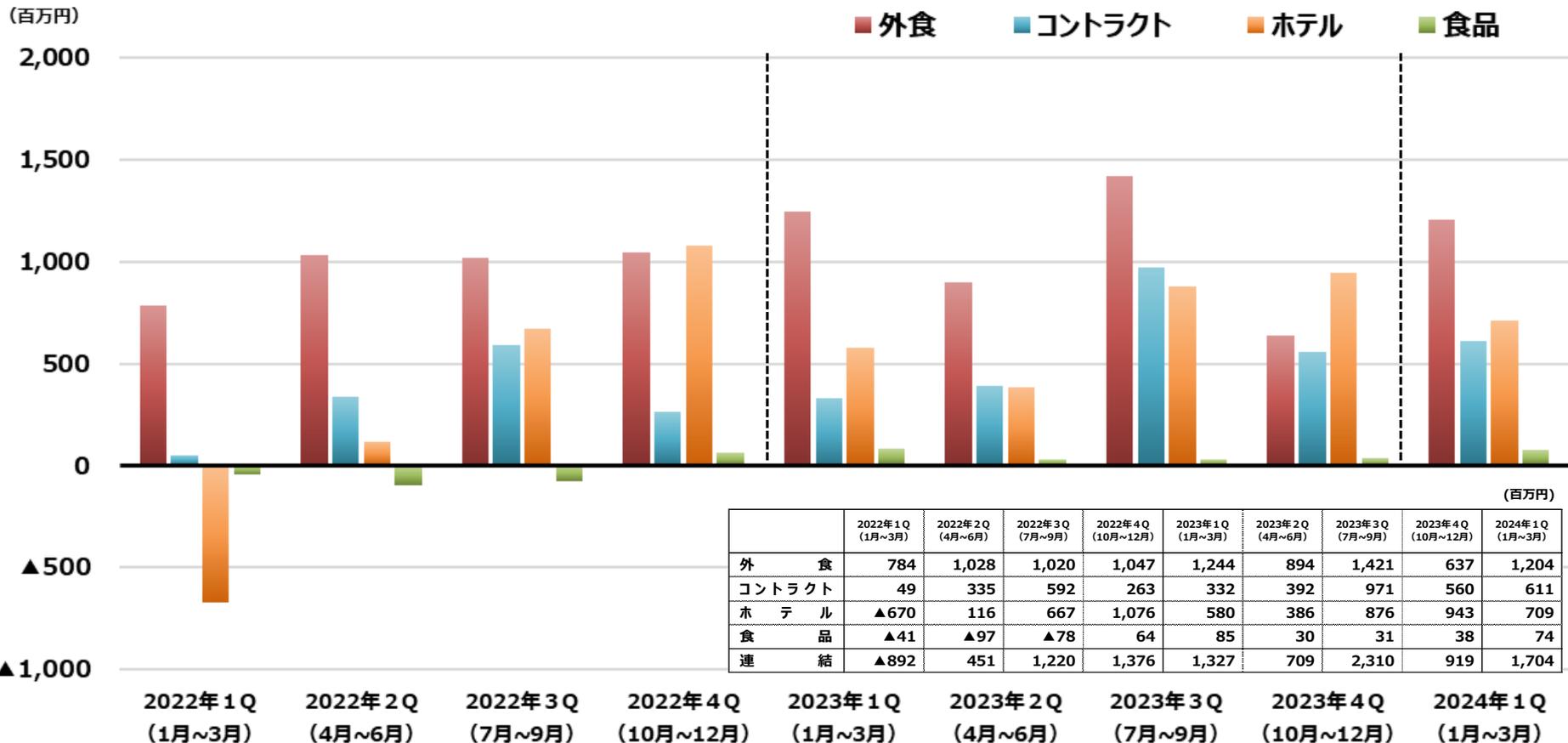
(単位：百万円)

	2023年12月期 第1四半期		2024年12月期 第1四半期		前期比較		
	売上高 増減額	(占有) (%)	経常利益	売上高 増減額	(占有) (%)	経常利益 増減額	(増減率) (%)
外食事業	14,815	(46.8)	1,244	15,428	(43.3)	1,204	612 (4.1) △39
コントラクト 事業	9,283	(29.3)	332	11,630	(32.6)	611	2,347 (25.3) 279
ホテル事業	6,655	(21.0)	580	7,554	(21.2)	709	898 (13.5) 129
食品事業	2,734	(8.6)	85	3,022	(8.5)	74	288 (10.5) △10
その他事業	62	(0.2)	△40	82	(0.2)	149	19 (31.0) 190
セグメント間 相殺	△1,917	(-)	-	▲2,088	(-)	-	△171 (-) -
全社部門	-	(-)	△875	-	(-)	▲1,046	- (-) △170
合計	31,634	(100.0)	1,327	35,629	(100.0)	1,704	3,995 (12.6) 376

# I-8. 主要セグメント別経常損益推移（四半期毎）

- ✓ 6 四半期期間連続で、外食・コントラクト・ホテル・食品の主要 4 事業全てが経常黒字
- ✓ 第 1 四半期期間（1月～3月）は、コントラクト・ホテル事業が牽引し、経常利益は、過去 3 年間では2023年第 3 四半期期間（7月～9月）に次ぐ水準

主要セグメント別経常損益推移（四半期毎）



# I-9. 主要事業ライン別損益

- ✓ 売上高は堅調に推移し、全ての事業ラインが経常黒字を確保
- ✓ 前期新店である「エンターテインメント施設内」と「リッチモンドホテル」などが対前期比較で増益、一方で、原材料価格の高騰などにより、「その他外食」と「工場・購買物流」は減益

(百万円)

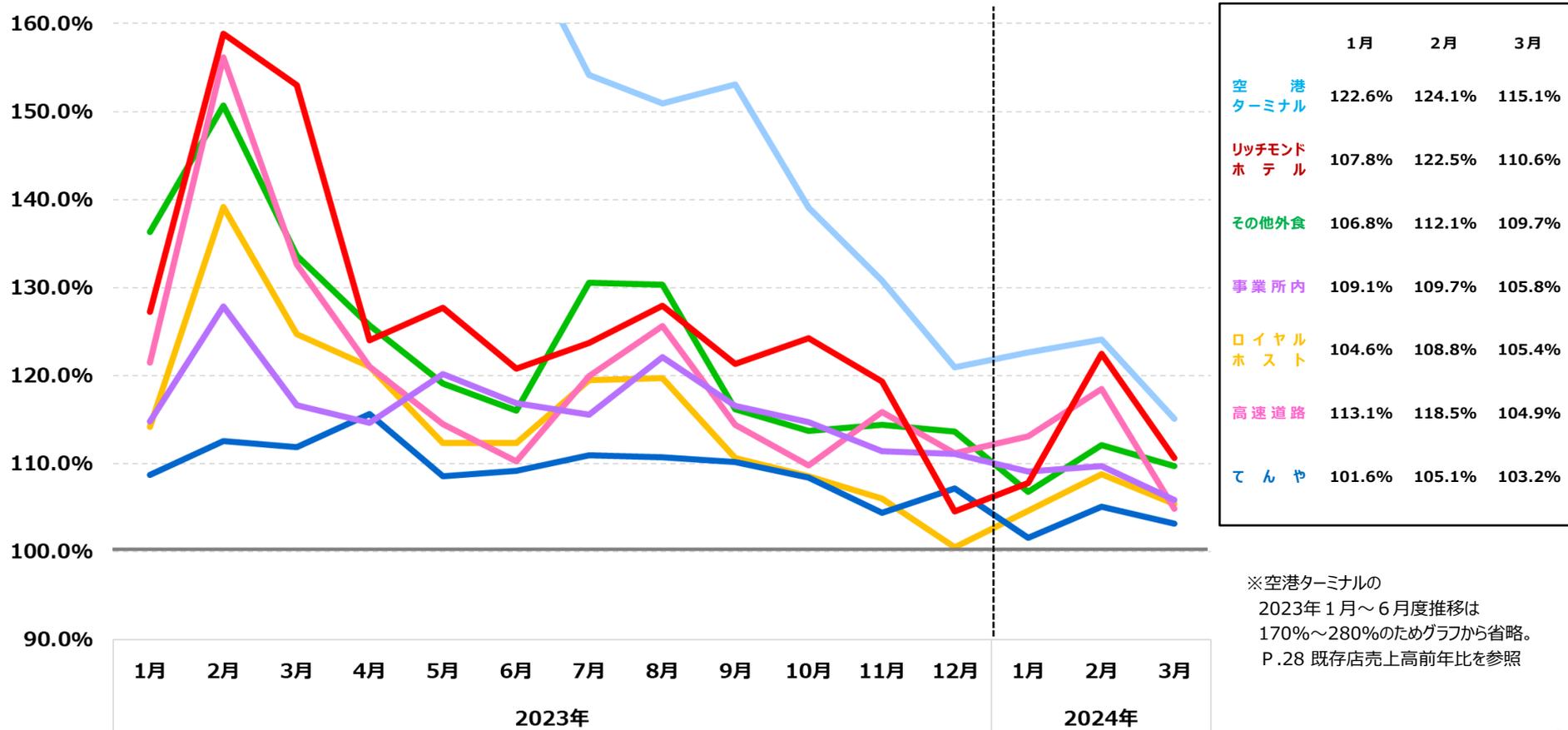
		2023年12月期 第1四半期		2024年12月期 第1四半期		前期比較	
		売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	ロイヤルホスト	10,008	1,092	<b>10,510</b>	<b>1,145</b>	502	53
	てんや	2,637	154	<b>2,751</b>	<b>164</b>	113	10
	その他外食	2,169	189	<b>2,166</b>	<b>153</b>	△3	△35
	外食本部	0	△191	<b>0</b>	<b>▲259</b>	0	△67
	計	14,815	1,244	<b>15,428</b>	<b>1,204</b>	612	△39
コントラクト事業	空港ターミナル	1,837	189	<b>2,427</b>	<b>216</b>	590	26
	高速道路	5,136	175	<b>5,695</b>	<b>236</b>	558	60
	事業所内等	2,309	167	<b>2,418</b>	<b>190</b>	109	23
	エンターテインメント施設内	0	△28	<b>1,088</b>	<b>152</b>	1,088	180
	コントラクト本部	0	△172	<b>0</b>	<b>▲184</b>	0	△12
	計	9,283	332	<b>11,630</b>	<b>611</b>	2,347	279
ホテル事業	リッチモンドホテル	6,655	678	<b>7,554</b>	<b>834</b>	898	156
	ホテル本部	0	△97	<b>0</b>	<b>▲124</b>	0	△26
	計	6,655	580	<b>7,554</b>	<b>709</b>	898	129
食品事業	工場・購買物流ほか	2,734	143	<b>3,022</b>	<b>132</b>	288	△11
	食品本部	0	△57	<b>0</b>	<b>▲57</b>	0	0
	計	2,734	85	<b>3,022</b>	<b>74</b>	288	△10

(注) その他外食、リッチモンドホテルの経常利益には持分法適用会社の損益を含んでおります。

# I-10. 既存店売上高前年比推移

- ✓ 2024年第1四半期期間（1月～3月）は全ての事業ラインで前年を上回る堅調な推移、観光需要の回復が進み、「空港ターミナル店舗」や「リッチモンドホテル」が好調
- ✓ 主要業態の「ロイヤルホスト」は30ヶ月連続、「てんや」は37ヶ月連続で前年の水準を超過

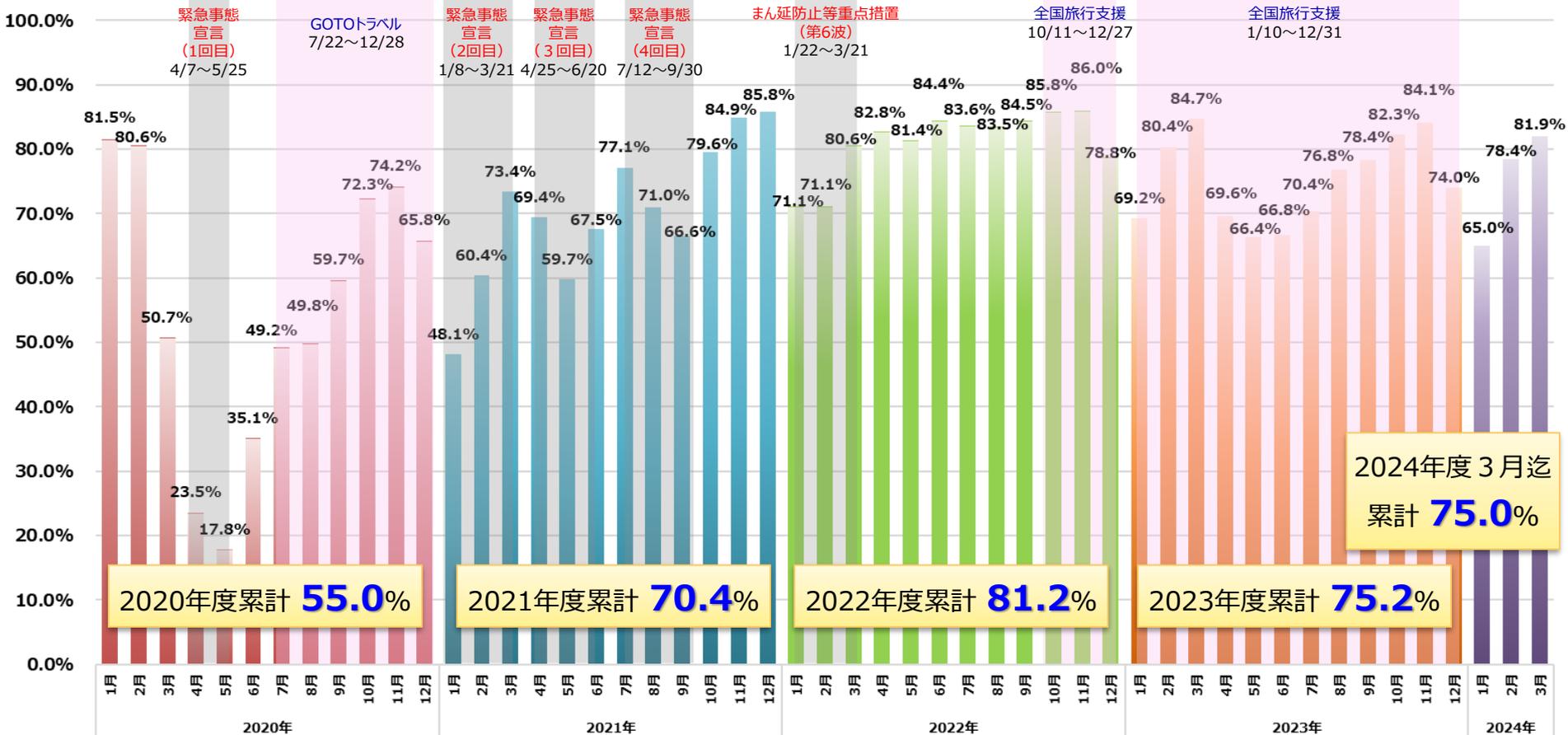
既存店売上高 対前年比推移



# I-11. リッチモンドホテル客室稼働率推移

- ✓ 第1四半期期間（1月～3月）の稼働率は75.0%、前年の全国旅行支援や宿泊療養施設の提供による反動減があるものの、国内観光やインバウンド需要は順調に回復
- ✓ インバウンド宿泊比率は1月19%・2月21%・3月21%

リッチモンドホテル客室稼働率推移



※ 客室稼働率には、新型コロナウイルス感染症の軽症者・無症状者の宿泊療養施設として提供していたホテル（8棟）を含んでおります。

# I-12. 2024年12月期 中間期業績予想の修正について

- ✓ 売上高予想は、新型コロナウイルスの感染法上の分類が5類に移行したことを受けて、需要の回復が進んだことに加えて、訪日外国人の増加も寄与し、前回予想を若干、上回る水準
- ✓ 利益予想は、各種経営施策による収益性の改善と持分法投資損益の良化を勘案

(単位：百万円)

	前回発表 予 想	今 回 予 想	増減額	増減率
売 上 高	71,400	<b>71,500</b>	100	0.1%
営 業 利 益	2,450	<b>2,800</b>	350	14.3%
経 常 利 益	2,000	<b>2,500</b>	500	25.0%
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,450	<b>2,100</b>	650	44.8%
1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益 ( 円 )	29.47	<b>42.67</b>	13.20	44.8%

※ 詳細は本日（2024年5月10日）開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

# I-13. 2024年12月期 通期業績予想の修正について

- ✓ 売上高予想は、賃金改善が進む一方で、物価高の継続が個人消費に及ぼす影響を慎重に判断するとともに、足元の状況を勘案し、前回予想を上回る水準で推移することを想定
- ✓ 利益予想は、持続的成長にむけた人的資本投資や設備投資による費用支出を想定

(単位：百万円)

	前回発表 予想	今回 予想	増減額	増減率
売上高	147,300	<b>148,000</b>	700	0.5%
営業利益	6,600	<b>7,000</b>	400	6.1%
経常利益	5,700	<b>6,400</b>	700	12.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,300	<b>4,800</b>	500	11.6%
1株当たり 当期純利益(円)	87.38	<b>97.53</b>	10.15	11.6%

※ 詳細は本日（2024年5月10日）開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

**I 2024年12月期 第1四半期 実績報告**

**II 中期経営計画「2022～2024」の進捗**

**III Appendix**



# Ⅱ-2. 既存領域・施設型事業 (カテゴリー 1)

外食事業

## 高付加価値戦略・新規出店・改装による既存店の活性化

✓ 各ブランド横断で国産食材消費を応援する『Good JAPAN』推進



Hospitality Restaurant

### Royal Host ✓ ロイヤルホスト新規出店



- 2023年 4月25日 光が丘IMA店
- 2023年12月19日 京都高島屋S.C. 店
- 2024年 3月1日 ららテラスHARUMI FLAG店 (東京都中央区)

- 2024年7月19日 シンガポール ジュエル店オープン予定
- 2024年夏 中部国際空港店オープン予定
- 2024年秋 阿蘇くまもと空港店オープン予定

✓ アルコール業態で食とエンタメが融合する場を提供

森のビアガーデン  
(東京都新宿区：4月16日～9月23日)

- ・食べ放題メニューに「アンガス牛」、別料金オプションメニューに「オマール海老」が登場
- ・クラフトビールの売り子スタッフが初登場



シズラーアクアシティお台場内 BBQテラス  
(東京都港区：4月5日～10月31日)

日本橋三越本店 屋上ビアガーデン  
グリルテラス日本橋2024  
(東京都中央区：4月17日～10月14日)



贅沢な素材を追加した  
スペシャルプランが新登場



✓ 新型モデルへアップデートで価値向上



- 2023年 シェーキーズ 3店舗リニューアル
- 2024年 2月28日 シェーキーズ吉祥寺店リニューアル (東京都武蔵野市)

■ 2024年 他 2店舗リニューアル予定

# Ⅱ-3. 既存領域・施設型事業（カテゴリー1）

## コントラクト事業

## 新規運営受託の強化、既存事業ラインの活性化

✓ ロイヤルグループ3度目の国際博覧会へ（2025年大阪・関西万博 従業員食堂の出店候補者に選定）

■ **2025年**（4月13日～10月13日）  
**日本国際博覧会（大阪・関西万博）**

従業員食堂の出店候補者に選定

■ **2005年** 日本国際博覧会（愛知万博）

従業員食堂の運営を受託

■ **1970年** 大阪万国博覧会（大阪万博）

米国ゾーンに外国店扱いで「ロイヤル・アメリカン・カフェテリア」をはじめ、「ウェスタン・ステーキハウス・ロイヤル」等4店舗を出店

開催前年に稼働させた日本初の本格的なセントラルキッチンを活用したオペレーションシステムを確立

→会場内のレストランの中で期間中No. 1の売上を記録



✓ スポーツ&コンベンション施設内の飲食店・売店運営受託を拡大



■ 2024年3月29日  
ベースボールスタジアム「ZOZOマリンスタジアム」内の  
2店舗の運営受託を開始（千葉県千葉市）



■ 2024年7月  
大型多目的アリーナ施設「LaLa arena TOKYO-BAY」内の  
4店舗の運営を受託予定（千葉県船橋市）

✓ 業態転換や新規受託による  
既存事業の活性化



Standard Coffee中部国際空港店  
（愛知県・中部国際空港：4月26日）  
チャウダースカフェから業態転換オープン

■ 2024年 空港ターミナルにロイヤルホスト出店予定  
・ロイヤルホストシンガポール ジュエル店  
・ロイヤルホスト中部国際空港店  
・ロイヤルホスト阿蘇くまもと空港店

## ホテル事業

## 高付加価値戦略・生産性の向上

 **Richmond Hotels** ✓ 業務効率化・現場力向上・改装で更なる宿泊価値向上を推進

### DXによる業務効率化推進

- AIレベニューマネジメント
- **プロジェクトOWB開発**  
(One's Worth Booster for Hotel  
「ひとの価値の最大化」の頭文字)  
➔ 宿泊者情報自動集約、客室清掃指示書  
電子化等による業務効率化を目的として開発中

### 改装による宿泊体験価値向上

- 2023年 ホテル**6**棟を改装  
・客室改装（6棟）、共用部改装（6棟）、  
レストラン改装（5店舗）、  
Wi-Fi・客室TV入替（全棟）
- 2024年 ホテル**5**棟の改装を予定  
新規開業に向けた開発も併せて推進

### ホテル人財育成を強化

- 総支配人海外研修
- オンライン英会話研修
- やさしい日本語研修

### 現場主体プロジェクトを推進

- ブランド力向上プロジェクト
- おもてなし原点会議・継承会議
- ベッドメイクコンテスト開催
- 設立20周年記念キャンペーン開催

■ JCSI 日本のリーディングブランド2023にリッチモンドホテルが選定  
(2023年度 サービス産業生産性協議会調べ)

### 設立20周年記念キャンペーン開催

- 第1弾：公式Instagramをフォローして  
「#リッチモンド愛を語ろう」をつけて投稿した方に  
抽選でリッチモンドホテル宿泊優待券をプレゼント



- 第2弾：設立20周年記念 特別宿泊プラン販売



# Ⅱ-5. 事業創造領域・施設型事業（カテゴリー2）

## 外食事業

## 次世代に向けた取り組み



✓ 次世代型店舗の出店・既存店改装で付加価値向上

### ■ 2023年 関西 3店舗オープン

- ・天丼てんや難波千日前店（大阪府大阪市：8月7日）
- ・天丼てんやイオンモール大日店（大阪府守口市：10月19日）
- ・天丼てんや天六店（大阪府大阪市：11月1日）



天丼てんやあべのキューズモール店  
（大阪府大阪市：4月2日）



エアポートてんや羽田空港第2ターミナル店  
（東京都・羽田空港：  
4月5日リニューアルオープン）

### 次世代型店舗（NEWてんや）

フルセルフレジ・タブレットオーダー・キッチンディスプレイの他に保温機能付きライスロボや自動水切り機等も導入



## ✓ 双日社との合併カフェ事業「COSTA COFFEE」のチェーン展開

### ■ 2023年1月 双日ロイヤルカフェ株式会社設立

### ■ 2023年 5店舗オープン

- ・コストコーヒーCIRCLES渋谷店（東京都渋谷区：8月4日）
- ・コストコーヒーOOTEMORI店（東京都千代田区：9月1日）
- ・コストコーヒーCURA銀座店（東京都中央区：10月6日）
- ・コストコーヒー福岡空港国際線ターミナル店（福岡県福岡市：12月1日）
- ・コストコーヒー学芸大学店（東京都目黒区：12月25日）

※COSTA COFFEE、コストコーヒーは、COSTA Limitedの登録商標です。



コストコーヒー日比谷国際ビル店  
（東京都千代田区：1月22日）



コストコーヒー吉祥寺マルイ店  
（東京都武蔵野市：3月9日）

# Ⅱ-6. 既存・事業創造領域・非施設型事業（カテゴリー3・4）

*fine food is our business* ROYAL

## 食品事業

### 商品開発力・サプライチェーンマネジメント（SCM）の強化

- ✓ 商品企画開発力の強化
- ✓ 店舗・工場・物流センター・サプライヤーを一気通貫したSCMプロジェクトの推進

#### 企画開発

- 2024年『Good JAPAN』企画を継続



#### 購買

- 集中購買の強化
- 仕入価格高騰への対応
- 開発購買の推進（食材加工度UP）

#### 需給

- 自動発注導入店舗拡大・ロイヤルホストとてんやにて展開中
- 需要予測や在庫管理・生産管理の強化



#### 物流

- 従量単価制を稼働
- 2024年問題一次対応（納品時間削減）
- 物流コスト適正化
- 関東エリアの物流拠点再編

## 食品事業

### リパッケージ戦略

- ✓ フローズンミール『ロイヤルデリ』の販売強化

- EC
  - ・ギフト施策を強化
- グループ内店舗
  - ・販売機会ロス低減のため現地調査および改善提案実施（陳列モデル等の改善）
- 外部販売
  - ・冷凍自動販売機のリパッケージを推進（マンション内等）



## 新規事業

### 飲食店開業支援

- ✓ 飲食店開業支援プラットフォーム『オミセクラフト』を展開

- 2023年 双日社とSREホールディングス社の3社にて業務提携契約を締結
- 2024年 5月15日より『オミセクラフト』サービス開始予定
  - 飲食店開業者のニーズや開業のフェイズに即し、一連の準備をワンストップでサポートする飲食店専門の開業支援サービス



# Ⅱ-7. 海外事業・新規事業・食材開発（カテゴリー5）

*fine food is our business* **ROYAL**

## 海外事業

### 海外直営事業基盤の確立・海外FC事業の拡大

#### ✓ 海外直営事業基盤の確立

- 2021年8月 シンガポールで双日社との合併会社設立 (Royal Sojitz International Pte. Ltd.)

Hospitality Restaurant

**Royal Host**

ロイヤルホスト初の海外直営店舗をシンガポールに出店予定

ロイヤルホスト シンガポール ジュエル店  
(シンガポール：2024年7月19日予定)



シンガポール・チャンギ国際空港隣接の大型商業施設「Jewel Changi Airport」内に出店予定

看板商品の味の決め手の一つとなるソースなどの食材は日本のセントラルキッチンからシンガポールへ輸出

#### ✓ てんや海外FC事業の拡大

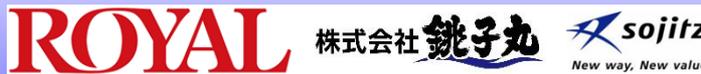


32店舗体制（3月末現在）

国・地域	2024年/3末 店舗数
タイ	12
フィリピン	10
香港	6
シンガポール	4



- 2024年3月 双日社と銚子丸社との3社にて米国での現地合併会社設立 (SUSHI-TEN USA Inc.)



- 背景：今後の国内市場の縮小と海外市場の拡大

➔ 米国西海岸を起点に市場ニーズを捉えた、寿司を中心とする新業態を創出  
3社合併により、単独では成し得ない新たな価値を創造

#### ✓ 海外人財獲得に向けた取組みを推進

海外の日本語学校や日本語学科を持つ大学を訪問し会社説明会を実施

- 2024年3月 台湾の大学（5大学にて実施）
- 2024年5月 中国の大学（予定）
- 2024年6月 ミャンマーの大学（予定）

# Ⅱ-8. サステナビリティ経営への取り組み①

## 中期経営計画2022～2024目標達成に向け、マテリアリティの下での取組みを推進



### ■産学連携プロジェクト

産業能率大学×ロイヤルガーデンカフェ  
学生考案ノンアルコールカクテルを期間限定販売（3月）



### ■出張授業実施

東京都世田谷区内の  
中学校でロイヤルホストの  
店長が講話（2月）

## 人財

## “食”&“ホスピタリティ”

### ■食の体験価値向上

グループで国産食材を応援する『Good JAPAN』実施



### ■代替肉の活用

動物性原料不使用の大豆ミート  
「NIKUVEGE（ニクベジ）」を活用した商品販売

### ■能登半島 被災地支援

- ・店頭募金活動  
グループ内店舗でお客様からお預かりした募金総額 2,632,090円を  
日本赤十字社を通じて被災地へ寄付（2月）
- ・フードトラックを活用した昼食提供  
石川県鳳珠郡穴水町の施設で実施（2月・4月実施、6月実施予定）



## 地域

## 資源・環境

### ■気候変動対応

- ・Scope 1.2 算定について社内システム化検討に着手
- ・12社30ブランド以上の外食チェーン・ホテル企業と  
合同で『EARTH HOUR 2024』へ参画

### ■食品ロス削減

- ・福岡食品工場での生ごみ処理機導入（2024年3月末～）
- ・福岡ドリームフェスティバル参画（キッザニア福岡主催）  
子どもたちと一緒に食品ロスを考えるワークショップ  
「“もったいない”を“おいしい”に」を開催（1月）  
※当社はキッザニア福岡のオフィシャルアクセラレーターです。



## Ⅱ-9. サステナビリティ経営への取り組み②

### ＜人的資本投資＞ 一過性ではなく、継続的な投資による成長循環を創り出す

#### 継続的な 処遇改善

- |                      |           |
|----------------------|-----------|
| ✓ 過去最高水準のベースアップ実施    | + 15,000円 |
| ✓ 初任給の引き上げ（2025年入社）  | + 20,000円 |
| ✓ 役職手当の増額（店長・料理長）    | + 10,000円 |
| ✓ 賞与の引き上げ            | + 0.2ヶ月   |
| ✓ シニア社員の処遇改善（店長・料理長） | + 15%     |

2024年度賃金改善

**7.2%**

#### 採用力の 強化

- |  |      |
|--|------|
| ✓ 新卒採用（2025年4月計画）<br>（2024年4月入社実績 59名） | 100名 |
| ✓ 中途採用の強化                              |      |
| ・外国人採用（特定技能1号）                         | 110名 |
| ・クルーからの登用                              | 50名  |
| ・その他（媒体・紹介）                            | 40名  |

採用計画

**300名**

#### 働きやすい 職場環境の 整備

- |                  |                       |
|------------------|-----------------------|
| ✓ D&Iの推進         | ✓ 健康経営優良法人認定          |
| ・新任女性管理職研修       | ✓ ハラスメント研修実施<br>（全社員） |
| ・女性管理職対象のメンター制度  |                       |
| ・女性向けオンライン診療サービス |                       |
| ・男性の育児休業取得推進     |                       |

女性管理職比率目標

**20%**

男性育休取得率目標

**70%**

## CRMポイントサービスを2024年6月にリリース予定

### 2024年度 DX計画・進捗

#### ■ 業態 <出島>

- ▶ 中期経営計画：持続可能（サステナブル）なビジネスモデルの創造
- ・出島：**駒込天丼**（2022年12月オープン）  
**TEN Labo**（2023年4月オープン）
- ・AI利活用 ・EX・CX向上
- ・新たな顧客価値提供、効率オペレーション、食品ロス等の社会課題への挑戦



#### ■ 新店舗管理システム <Polaris>

- ▶ 中期経営計画：間接業務軽減、サービスレベル向上
- ・**統合店舗管理システム（Polaris）**による業務効率化
- ・既存テスト店にて実証中
- ・2024年10月よりロイヤルホストから順次展開予定
- ・2025年上期に向けて商品管理を検討開始



#### ■ SCM（サプライチェーンマネジメント）

- ▶ 中期経営計画：原材料調達～販売の統括管理、需要予測に基づく調達、生産管理や在庫管理の最適化
- ・統合マスタ（POS・材料展開）を用いた**自動発注**の本格導入へ  
⇒ロイヤルホスト：2024年中に全店導入予定  
てんや：関東直営店2024年2Q、関西直営店2024年3Qに導入予定

#### ■ CRM（カスタマー リレーションシップ マネジメント）

- ▶ 中期経営計画：**ロイヤルグループ共通認証ID**の実現
- ・**ポイントシステム**の詳細内容の検討、システムテスト進行中
- ・第1フェーズとして、ロイヤルホスト、てんやでの活用を推進
- ・2024年6月サービスリリース予定

#### ■ 共通インフラ更改

- ▶ 中期計画：時間や場所にとらわれない“食”&“ホスピタリティ”の提供の一環として社内ネットワークの高度化及び店舗環境を整備
- ・オフィス、店舗ネットワーク設計、現場調査実施中
- ・2024年中にオフィスネットワーク更改、店舗へ業務用無線環境整備完了予定
- ・POS更改などの詳細化を検討開始

#### ■ EA（エンタープライズアーキテクチャ）

- ▶ 中期経営計画：「変化への対応」を実現するためのIT環境の最適化とIT環境の整備及びシステムガバナンスの強化
- ・SCMシステム 可視化・高度化
- ・データ分析基盤拡充
- ・セキュリティ高度化

**I 2024年12月期 第1四半期 実績報告**

**II 中期経営計画「2022～2024」の進捗**

**III Appendix**

# Ⅲ-1. 既存店売上高前年比

## 2024年度

(%)

		1月	2月	3月	第1四半期 累計
外食事業	ロイヤルホスト	104.6	108.8	105.4	106.2
	てんや	101.6	105.1	103.2	103.2
	その他外食	106.8	112.1	109.7	104.8
コントラクト 事業	空港ターミナル	122.6	124.1	115.1	120.4
	高速道路	113.1	118.5	104.9	111.3
	事業所内等	109.1	109.7	105.8	108.1
ホテル事業	リッチモンドホテル	107.8	122.5	110.6	113.6

## 2023年度

(%)

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年 累計
外食事業	ロイヤルホスト	114.1	139.2	124.7	121.0	112.3	112.3	119.5	119.7	110.6	108.6	106.0	100.5	114.9
	てんや	108.7	112.5	111.8	115.7	108.6	109.1	111.0	110.7	110.2	108.4	104.4	107.2	109.8
	その他外食	136.3	150.7	133.6	125.7	119.1	116.0	130.5	130.3	116.1	113.7	114.4	113.6	123.7
コントラクト 事業	空港ターミナル	189.3	282.4	203.9	192.5	179.5	170.2	154.2	150.9	153.0	139.1	130.8	120.9	162.5
	高速道路	121.5	156.2	132.7	121.0	114.5	110.2	119.9	125.6	114.4	109.8	115.9	111.2	119.8
	事業所内等	114.8	127.9	116.6	114.6	120.2	116.8	115.5	122.1	116.6	114.7	111.4	111.1	116.7
ホテル事業	リッチモンドホテル	127.3	158.8	153.0	124.0	127.7	120.8	123.7	127.9	121.3	124.3	119.3	104.6	126.2

# Ⅲ-2. 店舗展開状況

	2023年 通期実績				2024年 第1四半期実績			
	開店/異動	閉店/異動	増減	期末	開店/異動	閉店/異動	増減	期末
<b>外 食 事 業 計</b>	<b>17</b>	<b>△14</b>	<b>3</b>	<b>468</b>	<b>3</b>	<b>▲8</b>	<b>▲5</b>	<b>463</b>
ロイヤルホスト	2	△1	1	222	1		1	223
国内直営	2	△1	1	214	1		1	215
国内F C※1				8				8
てんや	7	△6	1	182		▲5	▲5	177
国内直営	3		3	116		▲3	▲3	113
国内F C	1	△4	△3	34		▲2	▲2	32
海外F C	3	△2	1	32				32
シェーキーズ		△2	△2	17		▲1	▲1	16
直営		△1	△1	12		▲1	▲1	11
F C等		△1	△1	5				5
シズラー				10				10
ロイヤルガーデンカフェ	1	△1		6				6
その他専門店	7	△4	3	31	2	▲2		31
直営	3	△4	△1	27		▲2	▲2	25
F C等	4		4	4	2		2	6
<b>コントラクト事業計</b>	<b>16</b>	<b>△14</b>	<b>2</b>	<b>169</b>	<b>2</b>	<b>▲4</b>	<b>▲2</b>	<b>167</b>
空港内レストラン・売店等	5	△1	4	37				37
高速道路内レストラン・売店	9	△1	8	23				23
直営	9	△1	8	21				21
F C等				2				2
社員食堂※2		△4	△4	53		▲2	▲2	51
スポーツ&コンベンション施設※2				8	2		2	10
エンターテインメント施設内	1		1	1				1
シルバー・ヘルスケア		△7	△7	27		▲1	▲1	26
百貨店内レストラン等	1	△1		20		▲1	▲1	19
<b>ホテル事業計</b>				<b>52</b>				<b>52</b>
リッチモンドホテル等				47				47
直営				43				43
F C等				4				4
ホテル直営レストラン				5				5
<b>グループ合計※1</b>	<b>33</b>	<b>△27</b>	<b>6</b>	<b>677</b>	<b>5</b>	<b>▲12</b>	<b>▲7</b>	<b>670</b>
直営	<b>25</b>	<b>△21</b>	<b>4</b>	<b>600</b>	<b>3</b>	<b>▲10</b>	<b>▲7</b>	<b>593</b>
F C等※1	<b>8</b>	<b>△6</b>	<b>2</b>	<b>77</b>	<b>2</b>	<b>▲2</b>		<b>77</b>
(内、海外F C)	<b>3</b>	<b>△2</b>	<b>1</b>	<b>32</b>				<b>32</b>

※1 グループ内F C店舗を含む。てんや「国内F C」5店舗、ロイヤルホスト「国内F C」7店舗 は、他のセグメントと重複カウントとなるため、グループ合計からは除外

※2 事業ライン間異動：社員食堂（旧名称：ビジネス&インダストリー）・スポーツ&コンベンション施設 8店舗

- 本資料に記載している営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益については、それぞれ営業損失・経常損失・親会社株主に帰属する当期(四半期)純損失の場合に「△」で表示しております。
- 本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

本資料に関する問い合わせ先：  
ロイヤルホールディングス株式会社  
財務企画部 電話：03-5707-8873